

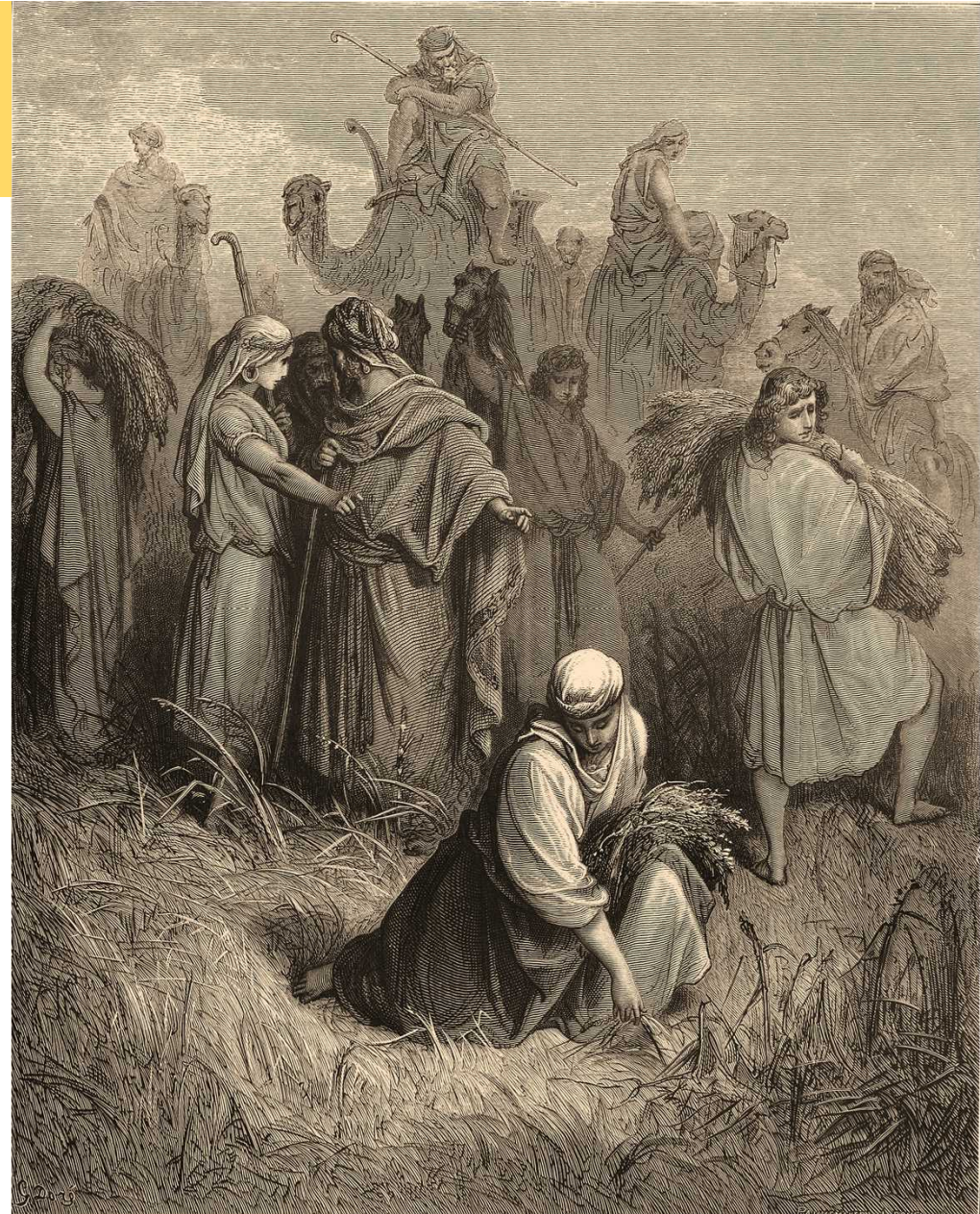
ルツ記
聖徒伝 78

「主があなたを 買い戻す」

ルツ記3～4章 ボアズの決断・継がれた系譜

アウトライン

- 0. イントロダクション
 - I. ボアズの決意 3章
 - II. オベドの誕生 4章
 - III. まとめと適用
- 主との友情を育もう



【無垢の時代】
天地創造

【良心の時代】
墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】
バベルの塔事件

【約束の時代】
アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】
イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】
聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】
千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

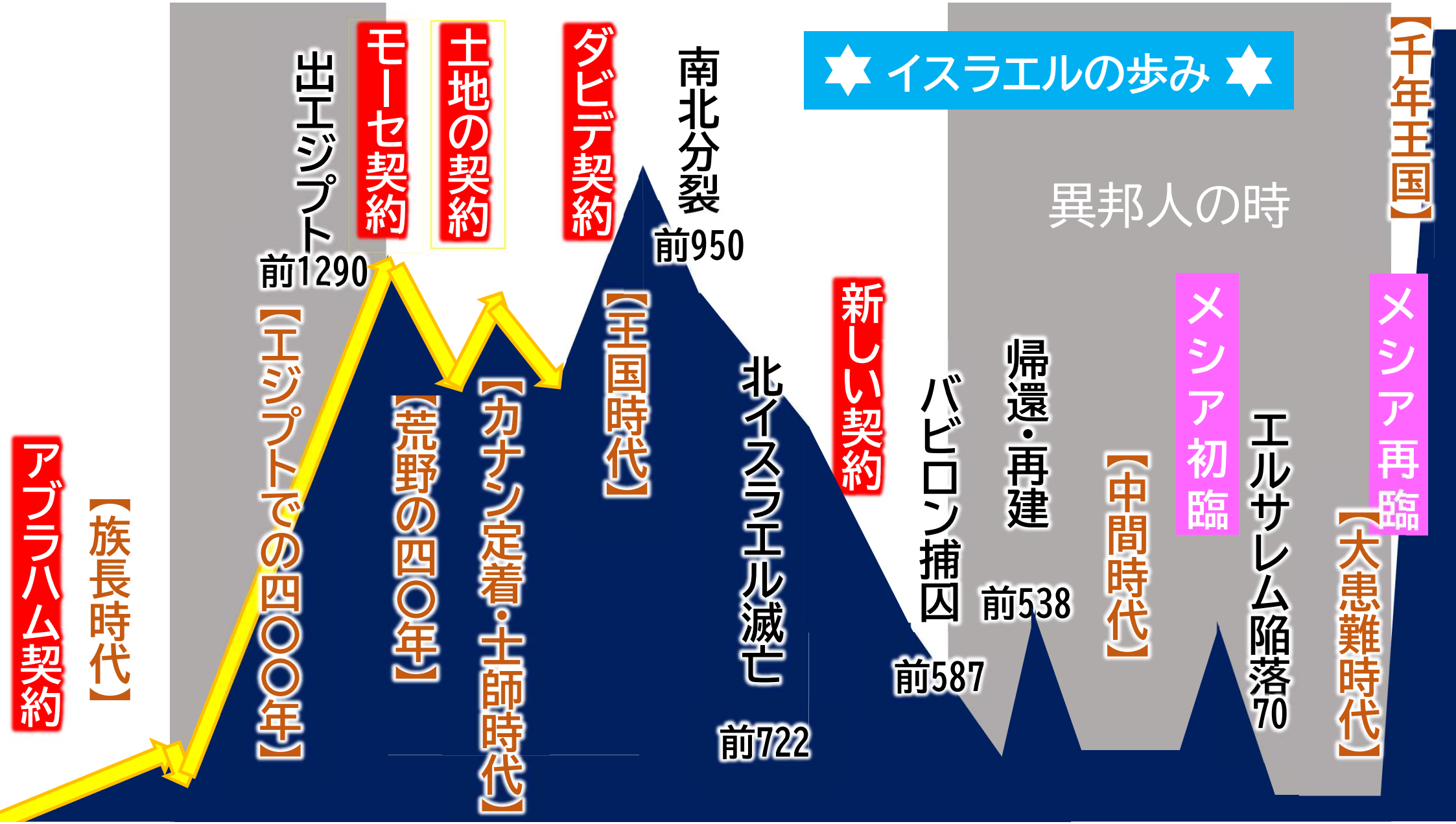
神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

出エジプト

前1290

【エジプトでの四〇〇年】

モーセ契約

土地の契約

ダビデ契約

【王国時代】

南北分裂

前950

北イスラエル滅亡

前722

新しい契約

バビロン捕囚

前587

帰還・再建

前538

【中間時代】

エルサレム陥落70

メシア初臨

【大患難時代】

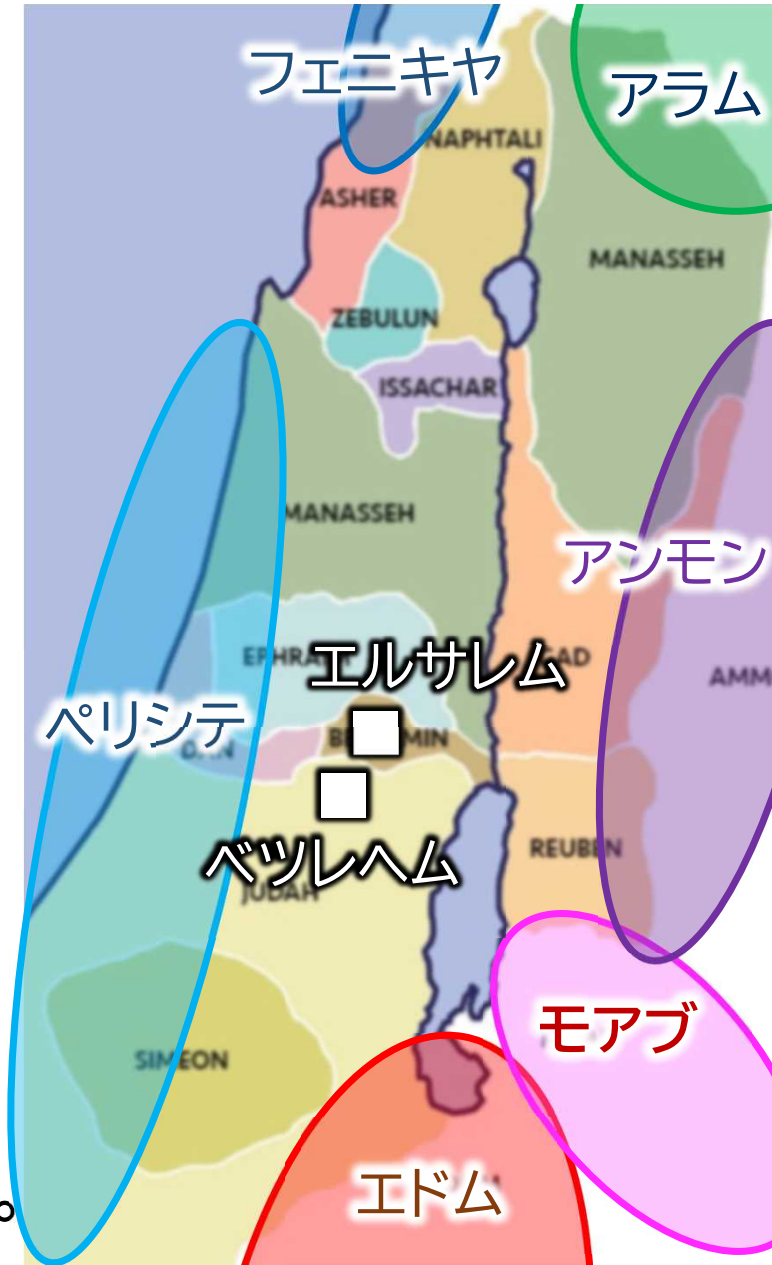
メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

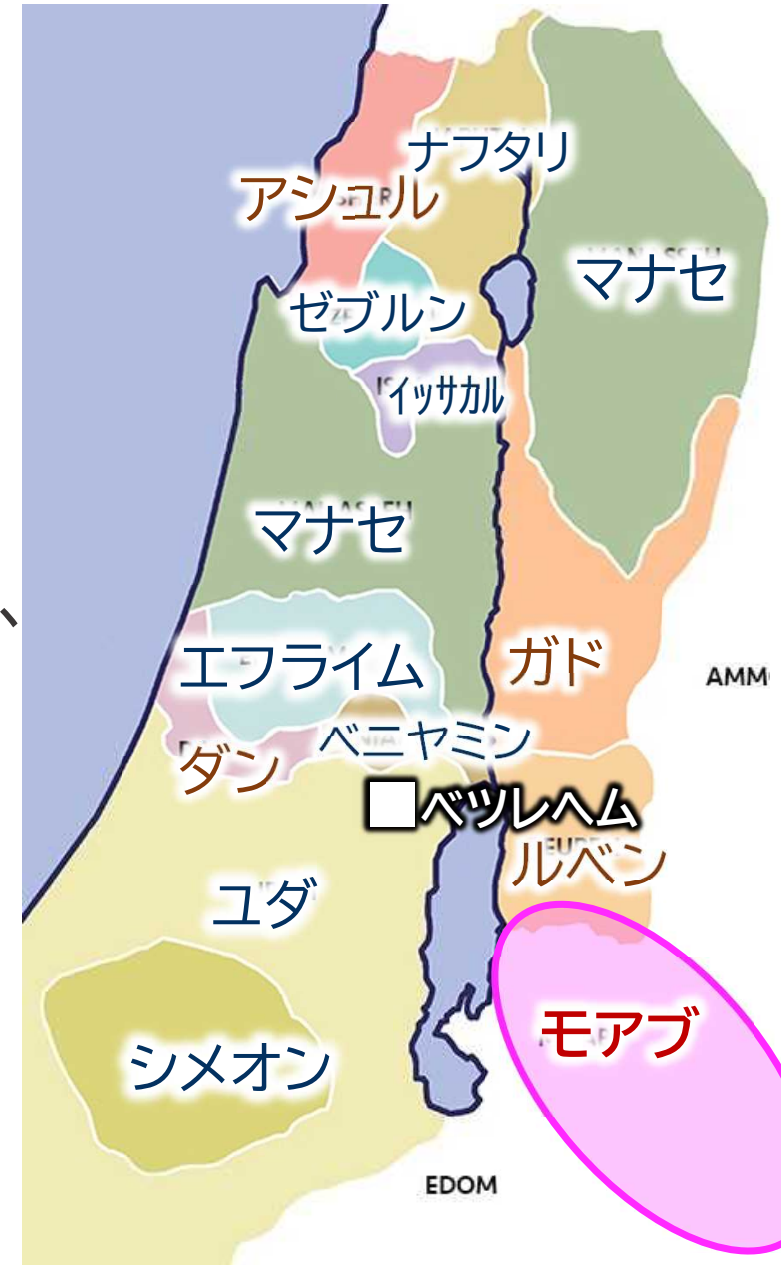
【ルツが生きた士師の時代】

- イスラエル12部族は、それぞれの相続地を手に入れたが、未征服も多く残っていた。
- カナン人の町が要所にあり、周囲にも強力な民族がいて、イスラエルを脅かしていた。
- イスラエルが背教し、異民族に苦しめられ、悔い改めて主に助けを求めると、主は、士師を立て、敵を撃退された。
- 士師は、あくまで一部族のリーダー。
全イスラエルを治める王は、まだいなかった。



【ルツが生きたのは士師の時代のいつ？】

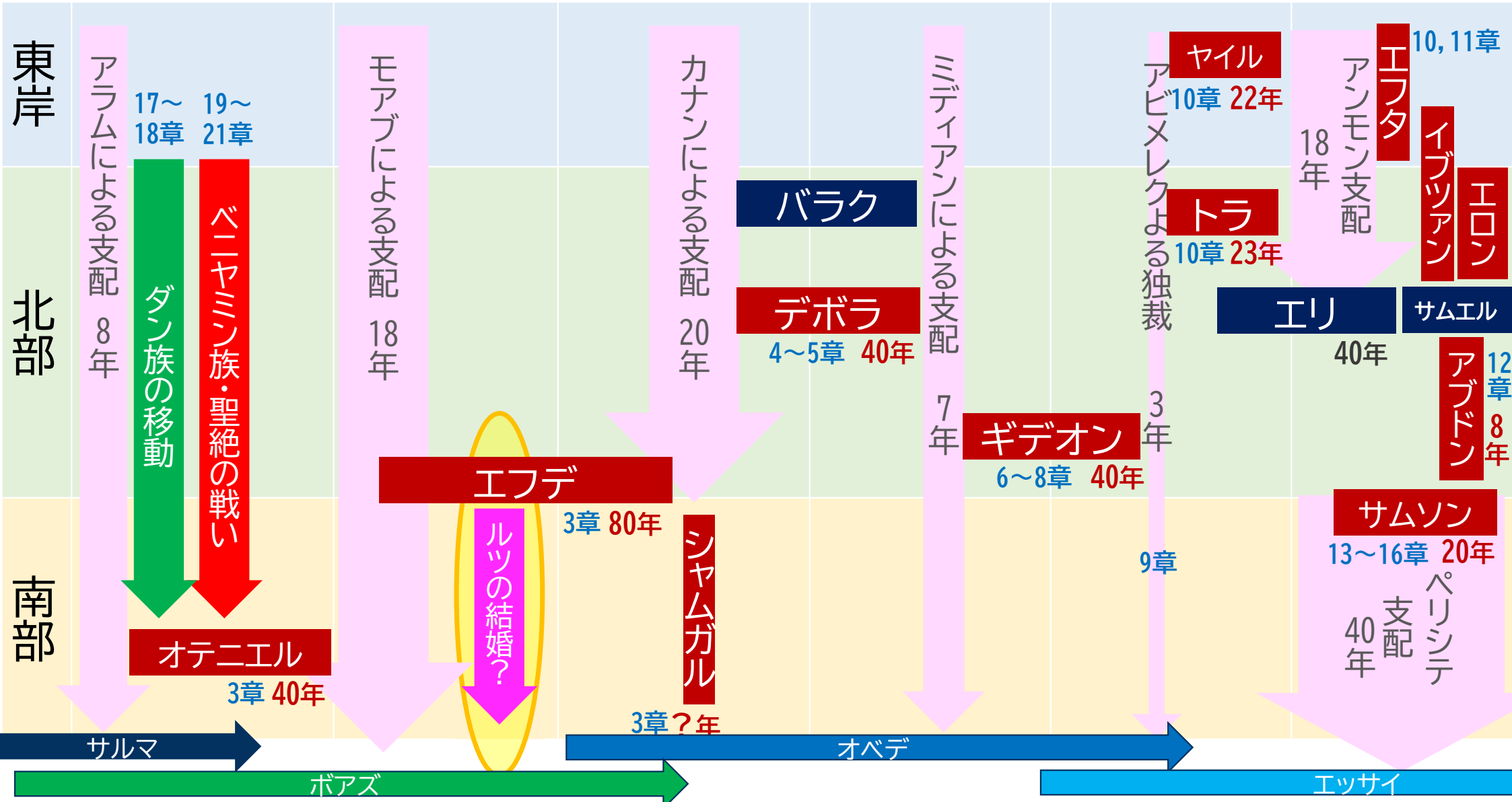
- ヨシュアが最初に攻め取ったエリコで唯一、主に立ち返ったラハブは、サルマと結婚。
「サルマはボアズを生んだ(ルツ記4:21)」
- 士師の時代の初め頃、ロトの子孫モアブ人が、18年間、イスラエルを支配した。
➡ルツの時代はこの頃か？
- モアブ人ルツが、姑ナオミに聴き従い、メシアの系譜を継ぐに至る。それがルツ記。



【士師の時代】

BC1200

BC1100



【前回のあらすじ】

- ナオミは、モアブで夫と二人の息子を亡くした。
モアブ人の嫁ルツは、決意も固く、ナオミと共にベツレヘムに移り住んだ。
- 「あなたの神は、わたしの神です」
姑ナオミへのルツの愛情は、
イスラエルの神への信仰のゆえに生まれたもの。
- ナオミの分まで落ち穂拾いに励むルツに、
目をとめたボアズは、買い戻しの権利を持つ、
ナオミの特別な親族の一人だった。





I. ボアズの決断

ルツ記3章

ベツレヘム郊外

【ナオミの助言】 ルツ3:1~4

姑のナオミは彼女に言った。「娘よ。あなたが幸せになるために、身の落ち着き所を私が探してあげなければなりません。

あなたが一緒にいた若い女たちの主人ボアズは、私たちの親戚ではありませんか。ちょうど今夜、あの方は打ち場で大麦をふるい分けようとしています。

あなたはからだを洗って油を塗り、晴れ着をまとして打ち場の下って行きなさい。けれども、あの方が食べたり飲んだりし終わるまでは、気づかれないようにしなさい。

あの方が寝るとき、その場所を見届け、後で入って行ってその足もとをまくり、そこで寝なさい。あの方はあなたがすべきことを教えてくれるでしょう。」



【ルツの助言の背景】 ルツ3:1~4

- 麦のふるい分けは風通しのよい場で行われ、作業の間、盗難を防ぐため、見張りを置いた。
- 足下をまくって寝るのは、当時のプロポーズ。
- 重要なのは**律法**に従っていること(申25:5~10)。
 - ➡ボアズは、買い戻しの義務を負う親族であり、
 - ➡ルツには、買い戻しを求める権利がある。
- この規定の精神は、**約束の土地の相続の遵守**。
 - ➡士師の時代のイスラエルの最大の責務。



【ルツの従順】 ルツ3:5~8

ルツは姑に言った。「おっしゃることは、みないたします。」こうして、彼女は打ち場に下って行き、姑が命じたことをすべて行った。*

ボアズは食べたり飲んだりして、気分が良くなり、積み重ねてある麦の傍らに行って寝た。彼女はこっそり行って、ボアズの足もとをまくり、そこに寝た。

夜中になって、その人は驚いて起き直った。見ると、一人の女の人が自分の足もとに寝ていた。

*ルツは姑に従い、何より神の律法に忠実に従った。



【ボアズからの祝福】 ルツ3:9～10

彼は言った。「あなたはだれた。」彼女は言った。「私はあなたのはしたためルツです。あなたの覆いを、あなたのはしための上に広げてください。*
あなたは 買い戻しの権利のある親類です。」

ボアズは言った。「娘さん、【主】があなたを祝福されるように。あなたが示した、今回の誠実さは、先の誠実さ*にまさっています。あなたは、貧しい者でも富んだ者でも、若い男の後は追いかけてませんでした。」

*ボアズの庇護の下に身を置くこと。敬意と謙遜。

*先の➡姑への誠実。 今回➡【主】に対する誠実。



【愛情と敬意】 ルツ3:11～13

娘さん、もう恐れる必要はありません。あなたが言うことはすべてしてあげましょう。この町の人々はみな、あなたがしっかりした女であることを知っています。

- ルツの恐れに気づき、慰めたボアズの優しさ。
ルツへの評判に傷がつかないようにとの配慮。
- 互いへの愛情と敬意に満ちた、二人のやりとり。
優しさといたわりに満ちたボアズの言葉。

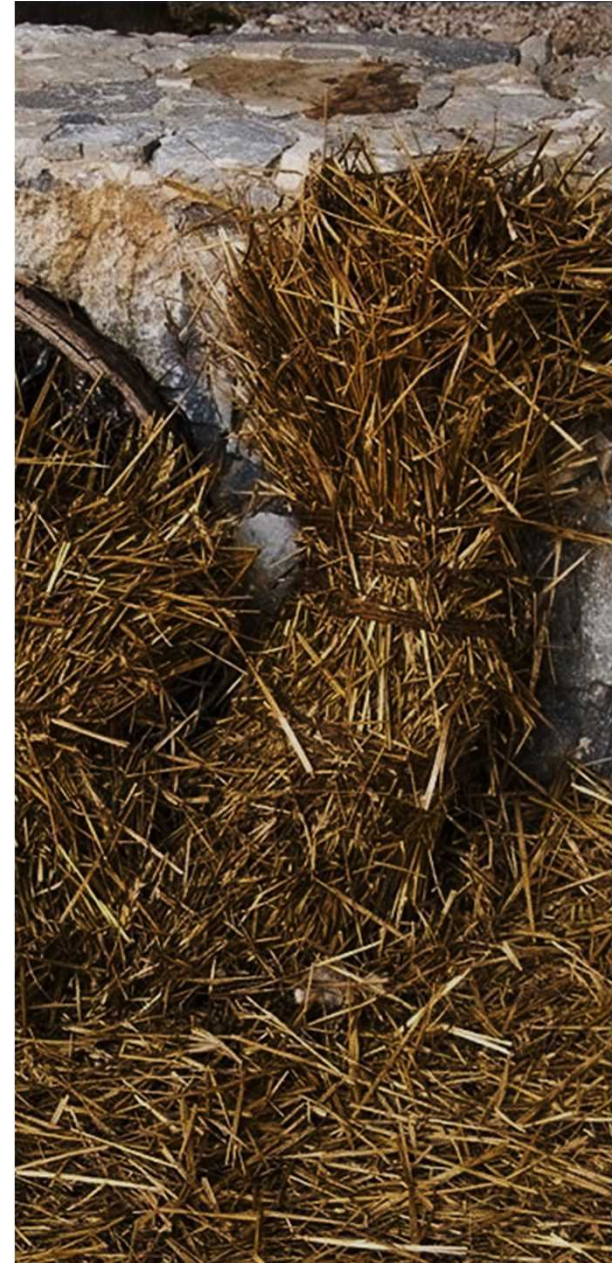


【信仰者ボアズ】 ルツ3:12~13

ところで、確かに私は買い戻しの権利のある親類ですが、私よりももっと近い、買い戻しの権利のある親類がいます。

今晚はここで過ごしなさい。朝になって、もしその人があなたに親類の役目を果たすなら、それでよいでしょう。その人に親類の役目を果たしてもらいましょう。もし、その人が親類の役目を果たすことを望まないなら、私があなただを買い戻します。**【主】は生きておられます。**さあ、朝までお休みなさい。」

■ ルツへの愛情を示しつつ、ただ主を信頼し、
神の律法への忠実を第一に貫くボアズ。



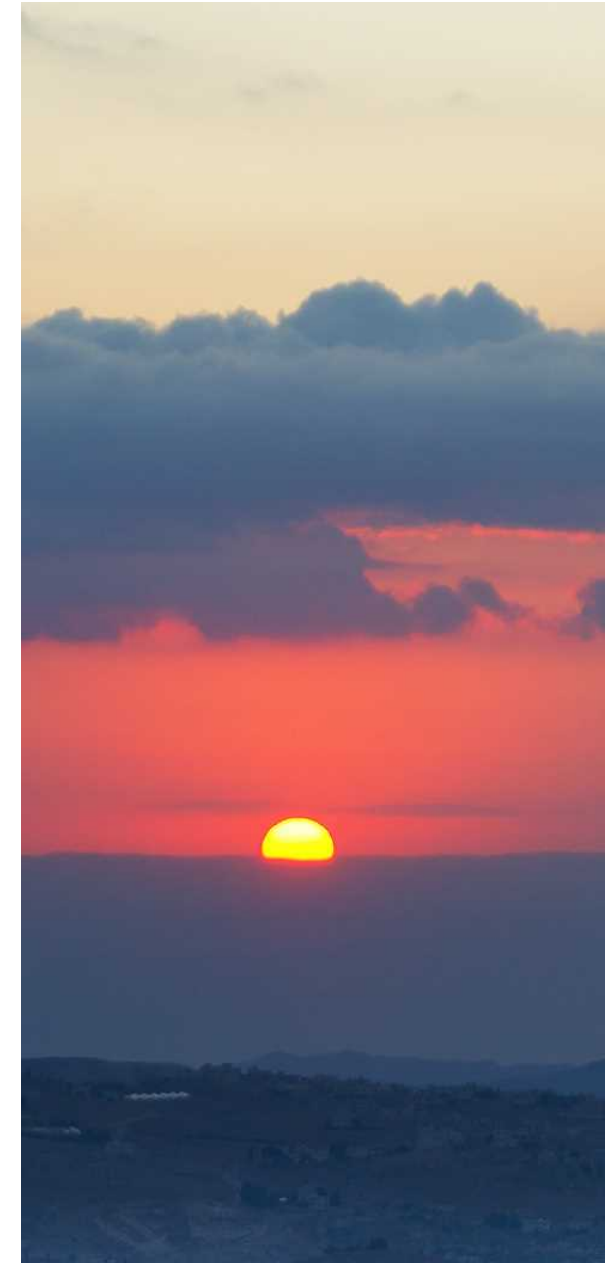
【町に向かうボアズ】 ルツ3:14~15

ルツは朝まで彼の足もとで寝て、だれかれの見分けがつかないうちに起きた。彼は「打ち場に彼女が来たことが知られてはならない」と思い、

「あなたが着ている上着を持って、それをしっかりとつかんでいなさい」と言った。彼女がそれをしっかりとつかむと、彼は大麦六杯*を量り、それを彼女に背負わせた。それから、彼は町へ行った。

*一杯、1オメル(2.3ℓ)なら、13, 8ℓ(7, 6升、11, 4kg)

■ 決断し、責任もって行動を起こすボアズの姿。



【ルツの帰宅】 ルツ3:16～18

彼女が姑のところに行くと、姑は尋ねた。「娘よ、どうでしたか。」ルツは、その人が自分にしてくれたことをすべて姑に告げて、こう言った。「あなたの姑のところに手ぶらで帰ってはならないと言って、あの方はこの大麦六杯を下さいました。」

姑は言った。「娘よ、このことがどう収まるかわかるまで待っていなさい。あの方は、今日このことを決めてしまわなければ落ち着かないでしょうから。」

■ボアズの人となりをよく理解しているナオミ。

ボアズを信頼して、ルツを送り出したと分かる。





Ⅱ. オベドの誕生

ルツ記4章

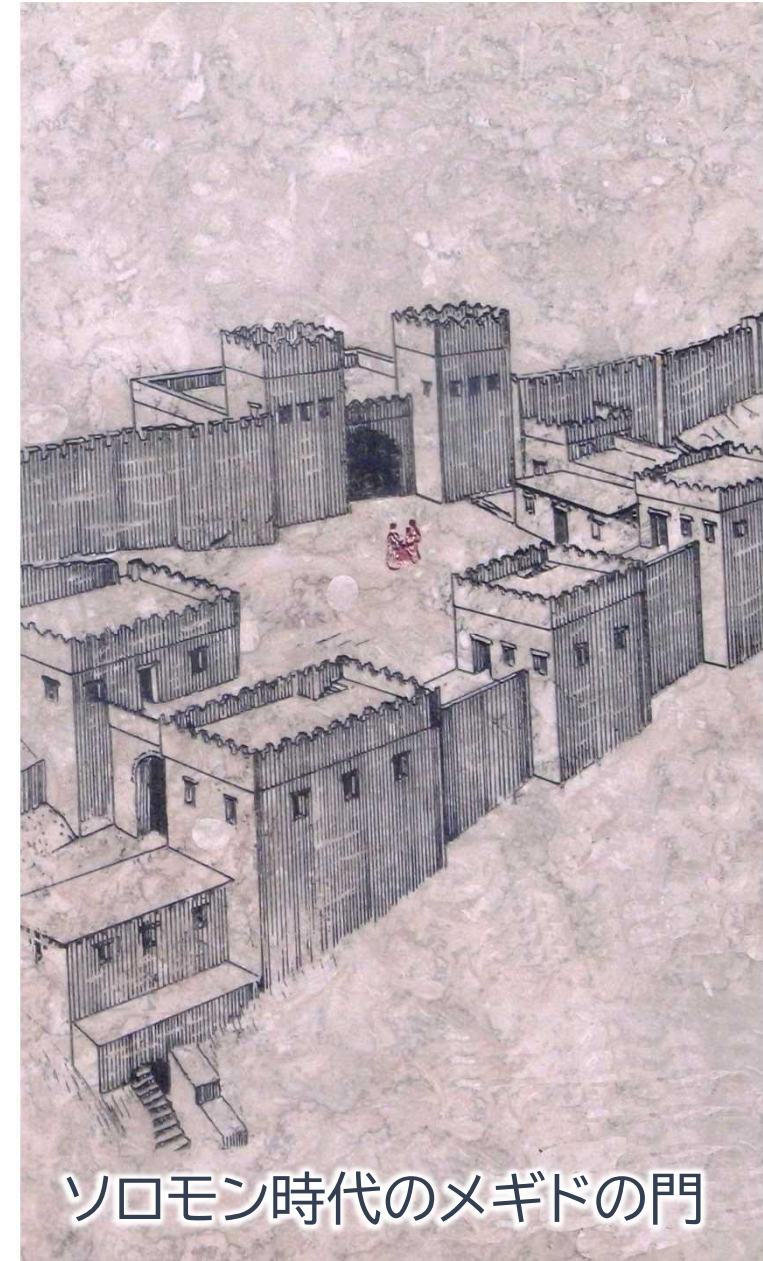
ベツレヘムから臨む朝日

【ベツレヘムの町の門で】 ルツ4:1~2

一方、ボアズは門*のところへ上って行って、そこに座った。すると、ちょうど、ボアズが言ったあの買い戻しの権利のある親類が通りかかった。ボアズは彼に言った。「どうぞこちらに来て、ここにお座りください。」彼はそこに来て座った。

ボアズは町の長老十人を招いて、「ここにお座りください」と言ったので、彼らも座った。

*町の行政機関。会議場。長老たちの集う場。

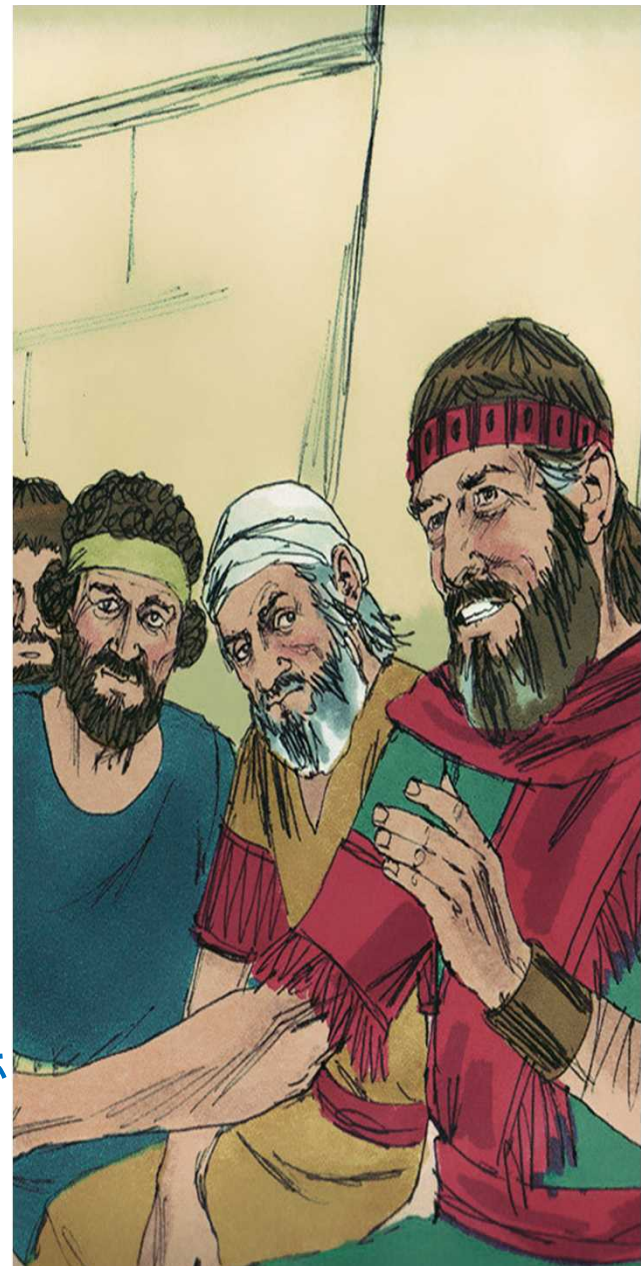


ソロモン時代のメギドの門

【ボアズの交渉①】 ルツ4:3~4

ボアズは、その買い戻しの権利のある親類に言った。「モアブの野から帰って来たナオミは、私たちの身内のエリメレクの畑を売ることになっています。

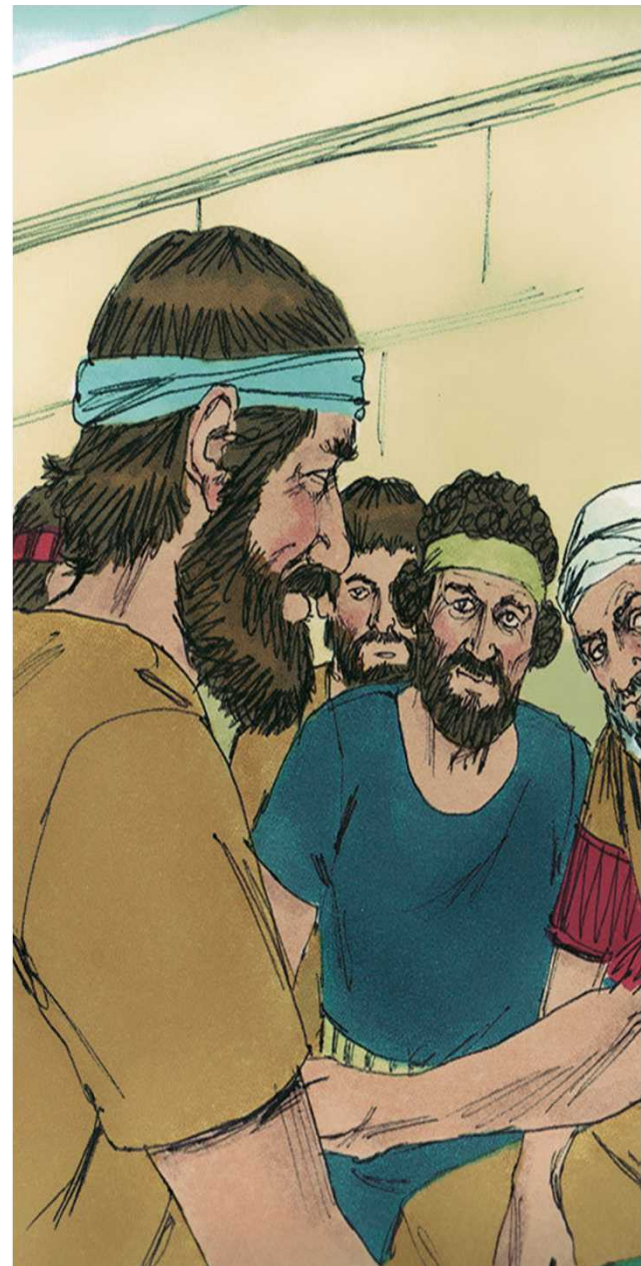
私はそれをあなたの耳に入れ、ここに座っている人たちと私の民の長老たちの前で、それを買ってくださいと言おうと思ったのです。もし、あなたがそれを買い戻すつもりなら、それを買い戻してください。けれども、もし、それを買い戻さないのなら、私にそう言って知らせてください。あなたを差し置いてそれを買い戻す人はいません。私はあなたの次です。」彼は言った。「私が買い戻しましょう。」



【ボアズの交渉②】 ルツ4:5～6

ボアズは言った。「あなたがナオミの手からその畑を買い受けるときには、死んだ人の名を相続地に存続させるために、死んだ人の妻であったモアブの女ルツも引き受けなければなりません。」

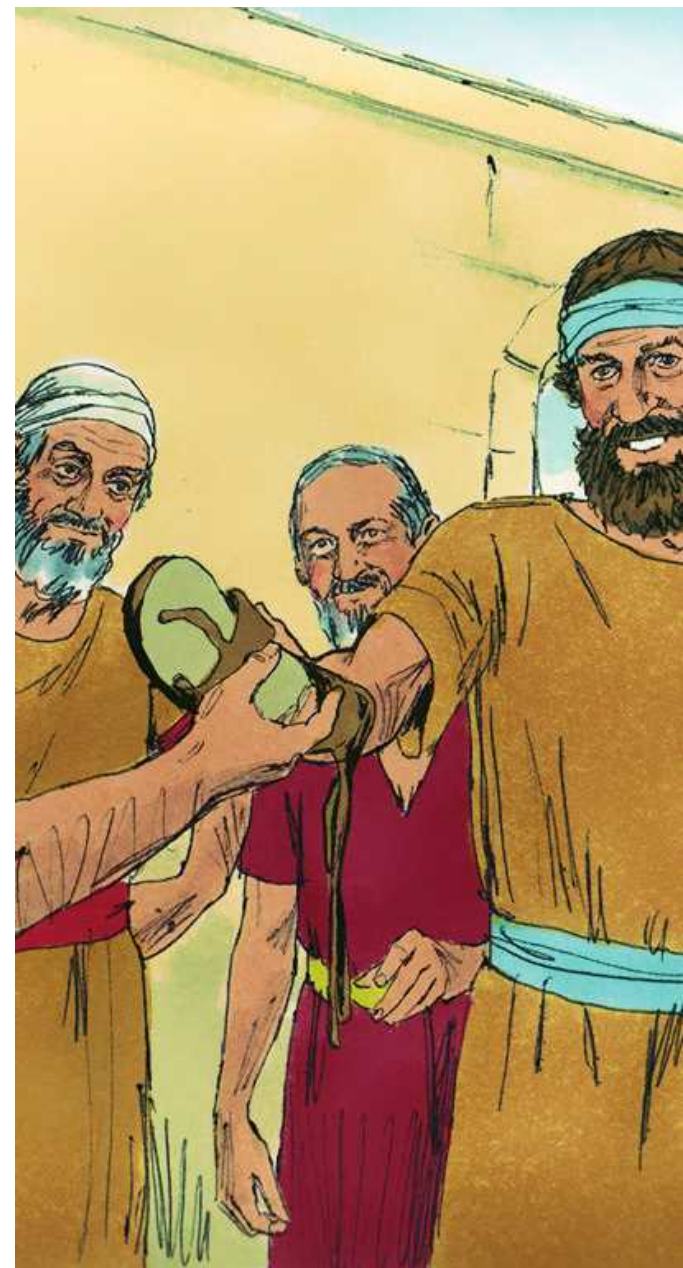
するとその買い戻しの権利のある親類は言った。「私には、その土地を自分のために買い戻すことはできません。自分自身の相続地を損なうことになるといけませんから。私に代わって、あなたが買い戻してください。私は買い戻すことができません。」



【交渉の成立】 ルツ4:7~8

昔イスラエルでは、買い戻しや権利の譲渡をする場合、すべての取り引きを有効にするために、一方が自分の履き物を脱いで、それを相手に渡す習慣があった。これがイスラエルにおける認証の方法であった。

それで、この買い戻しの権利のある親類はボアズに、「あなたがお買いなさい」と言って、自分の履き物を脱いだ。



【証人たち】 ルツ4:9～10

ボアズは、長老たちとすべての民に言った。「あなたがたは、今日、私がナオミの手から、エリメレクのものすべて、キルヨンとマフロンのものすべてを買い取ったことの証人です。

また、死んだ人の名を相続地に存続させるために、私は、マフロンの妻であったモアブの女ルツも買って、私の妻としました。死んだ人の名を、その身内の者たちの間から、またその町の門から絶えさせないためです。今日、あなたがたはその証人です。」



【長老たちの祝福】 ルツ4:11～12

門にいたすすべての民と長老たちは言った。「私たちは証人です。どうか、【主】が、あなたの家に嫁ぐ人を、イスラエルの家を建てたラケルとレアの二人のようにされますように。また、あなたがエフラテで力ある働きをし、ベツレヘムで名を打ち立てますように。

どうか、【主】がこの娘を通してあなたに授ける子孫によって、**タマル***がユダに産んだペレツの家のように、あなたの家がなりますように。」

***タマル** …イスラエルに嫁いだ最初の異邦人女性。

➡タマルから生まれたペレツが、彼らの先祖。

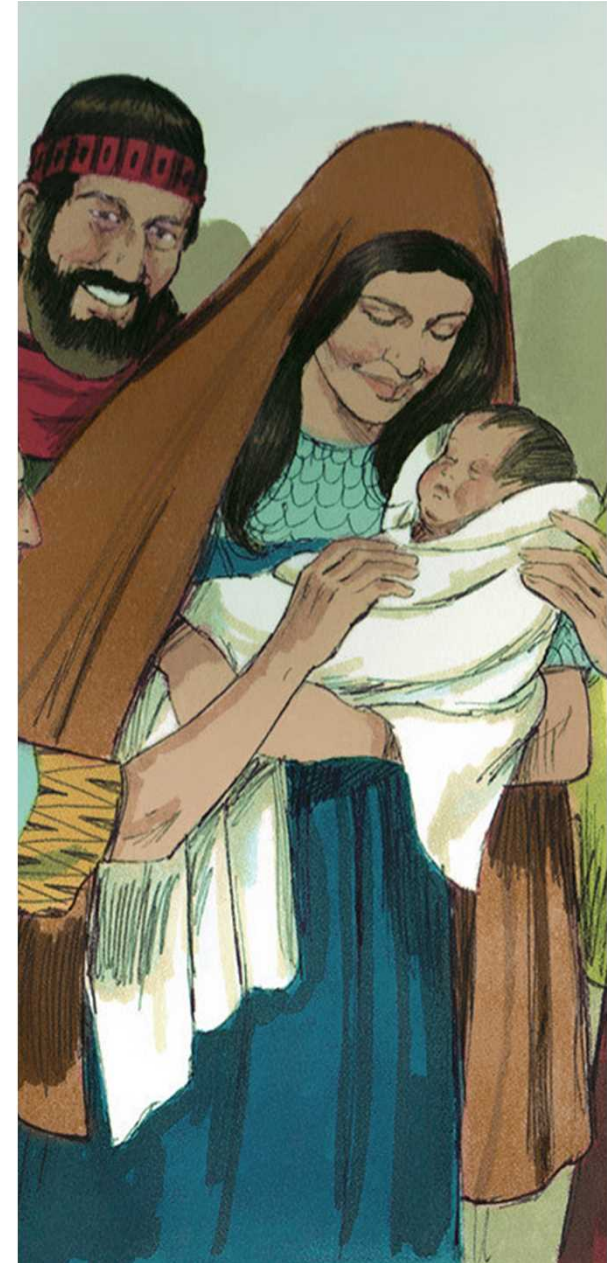


【主が与えたボアズの子】 ルツ4:13～15

ボアズはルツを迎え、彼女は彼の妻となった。ボアズは彼女のところに入り、【主】はルツを身ごもらせ、彼女は男の子を産んだ。

女たちはナオミに言った。「【主】がほめたたえられますように。主は、今日あなたに、買い戻しの権利のある者が途絶えないようにされました。その子の名がイスラエルで打ち立てられますように。」

その子はあなたを元気づけ、老後のあなたを養うでしょう。あなたを愛するあなたの嫁、七人の息子にもまさる嫁が、その子を産んだのですから。」



【ダビデの父祖オベデ】 ルツ4:16~17

ナオミはその子を取り、胸に抱いて、養い育てた。近所の女たちは、「ナオミに男の子が生まれた」と言って、その子に名をつけた。彼女たちはその名をオベデ*と呼んだ。オベデは、ダビデの父であるエッサイの父となった。

■ マラ(苦い)と名乗ったナオミに戻った喜び。

*オベデ …serving。給仕。供給。一杯。

“神の給仕者” “一杯の麦” そんな意味?



【継がれた系図】 ルツ4:18～22

これはペレツの系図である。ペレツはヘツロンを生み、ヘツロンはラムを生み、ラムはアミナダブを生み、アミナダブはナフションを生み、ナフションはサルマを生み、サルマはボアズを生み、ボアズはオベデを生み、オベデはエツサイを生み、エツサイはダビデを生んだ。

■ やがて、ダビデの子(子孫)として、
約束されたメシアが誕生する。





Ⅲ. まとめと適用

主との友情を育もう

ベツレヘムの段々畑跡

メシアの系譜 ～ユダからダビデまで～

ルツ記4:18～22	I 歴代誌2:4～15	マタイ1:3～6	ルカ3:32～33
(ユダ) ペレツ ハツロン ラム	ユダ ペレツ ハツロン ラム	ユダ ペレツ ハツロン アラム	ユダ ペレツ ハツロン アルニ アデミン
アミナダブ ナフシヨン サルマ ボアズ オベデ エツサイ ダビデ	アミナダブ ナフシヨン サルマ ボアズ オベデ エツサイ ダビデ	アミナダブ ナフシヨン サルマ ボアズ オベデ エツサイ ダビデ	アミナダブ ナフシヨン サラ ボアズ オベデ エツサイ ダビデ

【ペレツの生い立ち】 創世記38章

- 弟ヨセフを奴隷に売った後、ユダは父ヤコブの家を離れ、カナン人の女を妻とした。
- ユダの長男、次男は、神に反逆し、次々と死んだ。ユダは、長男の嫁のタマルを、三男に嫁がせず。舅ユダに見捨てられたタマルは、ティムナの町で娼婦になりすまし、ユダと関係を持った。
- タマルの懐妊を知って、激高したユダは、事実を知り、タマルは、「私より正しい」と認めた。
- タマルから先を争って生まれてきた双子の弟がペレツ(出し抜く)。



【タマルの祝福、ルツの祝福】

どうか、【主】がこの娘を通してあなたに授ける子孫によって、タマルがユダに産んだペレツの家のように、あなたの家がなりますように。

- タマルは、神の民イスラエルに嫁いだ最初の異邦人女性。
ベツレヘムにとっては、自分たちの大切なルーツ。
- ボアズの父サルマは、カナン人の異邦人信者ラハブと結婚した。
- タマルの評価は、**神の民の系図を紡いだ**ところにある。
ルツもまた、**神の民の系図を継ぐ**、重要な役割を果たした。
➡偉大な王ダビデにつながり、究極は、メシアにつながる。

【買い戻しと 贖いと 救い】

■ **買い戻し**は、“ガアル”。…語源は、“取り戻す”

➔ **土地の買い戻し**、殺された親族の**復讐**、隣人への**罪の償い**。

■ 神に買い戻された民が、**イスラエル**。

詩 74:2 どうか思い起こしてください。昔あなたが**買い取られゆずりの民**として贖われたあなたの会衆を。あなたの住まいであるシオンの山を。

■ 究極の買い戻しが、**メシア**による贖い。

ヨブ 19:25 私は知っている。**私を贖う方**は生きておられ、ついには、土のちりの上に立たれることを。

【メシアにつながる系譜こそ、神の計画の柱】

- 律法が突きつけたのは、正しい教えを守り通せない人の罪。
律法が示すのは、真実の買い戻しをもたらす**救い主、メシア**。
- 旧約聖書で最も重要な系譜は、**メシア**につながる系譜。
アブラハム➡ヤコブ➡ユダ➡ボアズ➡オベド➡ダビデ …➡**メシア**
- 不信仰と反逆の士師の時代にも、数少ない信仰者が希望をつないだ。
最も重要な、メシアにつながる系図は守られた。
➡背後に働かれているのは、約束の主の確かな守りと導き。
- **主ご自身が、ご自身の約束を守り通された。ルツ記は、主を讃える。**

【信仰者のあうんの呼吸】

- ボアズ、ナオミ、ルツは、相互に打ち合わせをしたわけではない。
 - ➡ 各々が主に従うことで自然に生まれた、見事な連携プレー。
 - ➡ 背後で主ご自身が導かれ、各々が主の導きを聴きとった。
- 使徒の時代の弟子たちも、御霊の導きに各々従い、連携した。
ピリポのサマリア伝道。ペテロのカイザリアでの伝道。
パウロの宣教旅行。
- 聖書フォーラムの自立と共生の原則を確認しよう。
各々が主によって立ち、主に従うことで自ずと共に用いられる。
 - ➡ 正しい聖書解釈。御言葉の正しい理解の深まりが、カギ。

【ルツに学ぶ主への信仰】

- “友情”という名のルツは、ナオミとの友情を育み、ボアズの信頼を得、何より、主との友情を育んだ。
- ルツは、主を愛し、主は、ルツを愛され、祝福された。
一杯の麦の出会いから生まれたオベドは、主に仕える者となった。
- 私たちも、主との友情を育もう。主イエスが私を友と呼んでくださる。
主イエスの庇護の覆いの下に、身を寄せ、歩もう。
- 日々、御言葉を慕い求め、ただ主に聴き従おう。

詩篇121:1~8

私は山に向かって目を上げる。私の助けはどこから来るのか。

私の助けは【主】から来る。天地を造られたお方から。

主はあなたの足をよろけさせず

あなたを守る方はまどろむこともない。

見よイスラエルを守る方は まどろむこともなく眠ることもない。

【主】はあなたを守る方。【主】はあなたの右手をおおう陰。

昼も日があなただを打つことはなく夜 も月があなただを打つことはない。

【主】はすべてのわざわいからあなたを守り

あなたのたましいを守られる。

【主】はあなたを行くにも帰るに 今よりとこしえまでも守られる。

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがなう)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信じます。

ルツのように、わたしも、主よ、あなたのおおいのもとで やすらぎます。

日々、御言葉(みことば)を慕(した)いもとめ、

主に仕(つか)えるものとしてください。

主の約束(やくそく)をにぎりしめ、一日のちいさな使命(しめい)につかわしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」